

憲法第九条

戦争の放棄

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

浜通り医療生協ニュース

2025年7・8月 第287号



医療福祉生協連

発行 浜通り医療生活協同組合 編集 機関紙編集委員会
〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字山ノ神40
組織部 92-3099 FAX 92-3105
ホームページ <https://www.hamadori-coop.jp>



私たちの現況

(2025年5月31日現在)

組合員数

14,067人

出資金総額

4億9,713万円

一人当たりの平均

35,340円

第47回 通常総代会

誰もが健康で居心地よくくらせる まちづくりへの挑戦

2025年6月28日、第47回通常総代会をいわき新舞子ハイツで開催しました

片山忍専務理事による記念講演の様子。医療福祉生協の理念を語られました。



青空が広がる爽やかな日差しのもと、一二七名が参加。議長には國政啓子総代と大友満総代が選出され、開会が宣言されました。

第一部では、日本医療福祉生活協同組合連合会の片山忍専務理事による記念講演『医療福祉生協の「いのちの章典」と「組合員活動」』が行われました。

片山専務は、浜通り医療生協が医療・福祉の提供だけでなく、地域の健康づくりやまちづくりに取り組む原点について語り、「健康をつくる。平和をつくる。」のち輝く社会をつくる。」という医療福祉生協の理念と、「いのちの章典」に込められた権利と責任の実践が、私たちの日々の活動に息づいていることを再確認しました。

また、班会への参加が健康寿命の延伸につながるという調査結果や、全国での実践例も紹介され、「誰もが健康で居心地よくくらせるまち」を実現するには、「参加」と「協同」が基本であり、それを広げていくことが大切であると強調されました。私たちの活動の意義を再確認し、今後の地域づくりへの励みとなるような有意義な講演となりました。

続いて、小名浜生協病院院長である遠藤剛常勤理事より、医師体制に関する報告がありました。

現在、同院には三名の総合診療専門医が在籍しており、地域の医療ニーズに对应するとともに、若手医師の育成にも力を注いでいることが紹介されました。こうした取り組みの成果として、今年度からは三〇代の



若い医師を新たに迎えることができたとの報告もあり、参加者からは心強いとの声が聞かれました。

第二部では、五つの議案がすべて賛成多数で採択されました。さらに、吉田幸江総代より「二〇二五年わたしたちの平和宣言」を提案され、会場の満場一致の拍手をもって採択されました。

第一に、地域医療・介護についてです。今年一月、九八歳の母が亡くなりました。寝たきりとなり自宅介護が限界となったため、病院に入院させましたが、驚くことにリハビリを経て退院し、自宅に戻ることができました。最期は訪問診療と介護の力を借りて、穏やかな表情で旅立ちました。

第二に、医療生協の役割についてです。医療生協は国の政策の枠内に制約されつつも、「いのちを中心に据えた活動」をめざしています。その原動力は「組合員と出資金」です。中長期の計画では、いわき市内で（一〇％の組合員）の目標は三万人の組合員と六億円の出資金であり、今年度はその途中段階として「一万五千人の組合員と五億円の出資金」を掲げています。これは簡単に達成できる目標ではありません。皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



理事長あいさつ
浜通り医療生活協同組合
理事長 菅家 新

総代の皆様にはご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。本日の総代会では、医療福祉生協連の片山専務に「医療福祉生協のいのちの章典と組合員活動」と題した記念講演をお願いしております。さて、私からは三点お話しさせていただきます。

医師から「自宅で看取る例は一％以下」と聞き、改めて本人の意向と支援体制の大切さを痛感しました。誰もが納得できる医療・介護を目指し、より良い仕組みづくりに努めていきたいと考えています。

第二に、医療生協の役割についてです。医療生協は国の政策の枠内に制約されつつも、「いのちを中心に据えた活動」をめざしています。その原動力は「組合員と出資金」です。中長期の計画では、いわき市内で（一〇％の組合員）の目標は三万人の組合員と六億円の出資金であり、今年度はその途中段階として「一万五千人の組合員と五億円の出資金」を掲げています。これは簡単に達成できる目標ではありません。皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

第三に、地域と職場の未来についてです。「平和で安心できる社会」と「働きたいのある職場」の両立を目指し、多様な力をもつ組合員・職員の協力によって、健康で明るいまちづくり・職場づくりを実現していきたいと考えています。

本日の総代会が活発な討議の場となり、活動方針の実現に向けて一歩踏み出す機会となることを願っております。

第47回 通常総代会報告

議決された議案

第1号議案 二〇二四年度事業報告及び決算報告・剰余金処分並びに監査報告

第2号議案 二〇二五年度事業計画・予算

第3号議案 役員報酬決定の件

理事二七名、監事五名の報酬総額範囲を決定。総額範囲内における各役員報酬額、支給方法などについてはそれぞれ、理事会、幹事会に一任。

第4号議案 役員選任の件

介護福祉部長交代に伴い、今総代会をもって一名の理事が辞任。新理事の選任を実施。

第5号議案 議案決議効力発生の件



各議案は賛成多数で可決されました

正すべき事項があった場合、提案の趣旨に反しない範囲で字句等の修正を行うことを理事会に一任。

二〇二四年度 監事所見

健全な経営と今後の提言

二〇二四年度は、新型コロナウイルス感染症が五類へ移行したものの、社会や事業運営に与える影響は依然として大きく残る一年となりました。そうした中でも、「安心のネットワークづくり」や「地域まるごと健康づくり」などの課題に前向きに取り組まれ、収支ともに前期を上回る結果を出されたことは、事業運営に尽力された成果として高く評価できます。経営の健全化と持続的な発展に向けて、今後も力を注いでいけることを期待します。

一方、介護事業については、通所系事業所を中心に「選ばれる事業所づくり」を目指して取り組まれましたが、転換は十分とは言えず、全体としての経営改善には至りませんでした。国による介護報酬の低水準維持など厳しい情勢の中ではありますが、地域包括ケアの推進を含め、地域で安心して暮らし続けられる体制づくりとあわせて、引き続き改善への努力が求められます。また、組合員活動においても、出資金の増加や新たな仲

間づくりといった、生協活動の原点となる取り組みが重要です。現在、組合員数・出資金ともに減少傾向にあります。が、今いる組合員への働きかけと、新しい組合員の拡大に向けたさらなる活動が必要で

す。本年度は、「健康で、安心して住み続けられるまちづくり」の実現を目指し、地域に根ざした医療提供者として、慢性疾患の管理や在宅医療の充実などにも取り組まれました。今後ますます高齢化が進む中で、地域に貢献する医療の提供体制をさらに強化されるよう望みます。

加えて、世界ではウクライナ侵攻から四年が経過し、パレスチナ・ガザ地区の軍事衝突も激しさを増しています。子どもを含む多くの市民の命が失われ、平和が脅かされている今、戦争や原発、核兵器は人類との共存が不可能であることを改めて認識すべきです。医療生協として、平和と人権を守る活動をこれまで以上に推進されることを強く望みます。

第22期 総代任命のお知らせ

組合員の声を届ける代表として新体制がスタート

五月二十九日に行われた第二期総代選挙を経て、地域を代表する新たな総代の皆さまが任命されました。総代は、私たち医療生協の運営において重要な意思決定を担う存在です。組合員の声を反映させながら、より良い医療・福祉の提供や、地域に根ざした活動の推進に貢献していただきます。今回の選挙では、二四地区から一三八名の方々が立

二〇二四年度 仲間ふやし表彰

(支部・班・個人)

●支部の部 (30人以上)

四倉支部／江名支部

泉支部

●支部の部

(自主目標2項目達成)

玉川支部／神白支部

勿来支部

●個人の部 (5人以上)

※敬称略 順不同

四倉支部

榊原 清隆／渡辺 義郎

大和田 博

久世原・中山支部

本藤とし子／高橋もと子

常磐・遠野支部

鈴木 範子／遠藤 礼子

早川のり子

玉川支部

栃本 和代／吉田 文子

田村 清

神白支部

左近司愛子

江名支部

関口多賀子／吉田 實

泉支部

白土 忠男／白土 直美

今泉千佳子／小泉 孝子

山崎 節郎

岡小名支部

松原 尚子／齋藤 幸子

佐藤 京子／矢口 礼子

勿来支部

- 【選挙区と総代の定数】
- 岡小名・湘南台地区 10名
 - 君ヶ塚区 3名
 - 小名浜東小区 9名
 - 小名浜二小区 9名
 - 大原区 8名
 - 玉川区 5名
 - 住吉・林城区 4名
 - 神白区 5名
 - 鹿島区 6名
 - 江名区 11名
 - 泉区 14名
 - 内郷・好間区 6名
 - 常磐区 9名
 - 遠野区 1名
 - 勿来区 8名
 - 平東区 4名
 - 平北区 2名
 - 平中央区 5名
 - 神谷・草野区 2名
 - 明治団地・自由ヶ丘・若葉台区 1名
 - 中央台・郷ヶ丘区 7名
 - 小川・三和・川前区 1名
 - 四倉・久之浜・大久区 5名
 - 職員区 3名

東ブロックその他地域

岩佐 常子

職 員

- 山添 幸恵／藤原砂由利
榎 秀子／原田こずえ
高木かおり／戸部 美那
鬼山 陽子／蛭田 裕美
松本 尚子／新妻 詢子
小林 逸人／小林 順子
吉田 和枝／國井 園子
遠藤 秋江／池川恵利子
秋葉 亮介／工藤 史雄
立石 淳子／佐藤 志保
阿部 綾／中村 文乃
新妻 恵



職場紹介

第16回 医師事務作業補助者

私たち医師事務作業補助者は、現在3名で医師の業務負担を軽減するため「事務的な業務」を担っています。患者さんやご家族と直接お会いする機会は少ないため、あまり知られていない職種かもしれませんが、医療現場を支える一員である私たちの業務を紹介します。

医師事務作業補助者の役割とは

医師の指示に基づいて、診断書や診療記録などの文書作成や電子カルテへの入力作業を代行したりしています。

日本での導入の歴史

医師事務作業補助者の役割は、もともと海外で広く行われていたが、日本では2000年頃から徐々に導入が始まりました。

2008年の診療報酬改定を契機に全国の病院で本格的に普及し、今では多くの医療機関で導入されています。

当院での取り組み

当院では、2009年、当時の事務次長が外部研修を修了し、震災後から介護保険に必要な「主治医意見書」の作成を効率化する体制を整えました。看護師が患者さんの情報を聞き取り、それを事務職員がシステムに代

師が確認・署名する仕組みが確立されました。



医師の負担を減らし、患者さんに向き合う時間を守る縁の下力持ち

業務内容の進化と工夫

この業務は単なる「書き↓入力」という作業にとどまらず、内容の矛盾や聞き漏らしがないか一定の医療知識をもとに確認する役割も担っています。

これにより医師は業務がスムーズに進み、確認作業が一度で済むようになっていきます。

また、入院中の経過をまとめる「退院時後記

（退院サマリ）※1の下書きも行っています。これにより退院後すぐに外来診療で参照できる体制が整い、情報共有が迅速に行えるようになりました。



「この内容で大丈夫ですか？」
—医師に確認しながら、安心につながる書類を丁寧に整えています

専任者の配置と電子カルテの導入

2016年には専任の



電子カルテ入力で医師を支援する医師事務作業補助者

担当者を配置し、2020年には電子カルテが導入されました。これにより医師の手書きの診療記録を事務職員が入力をする業務が行っており、業務内容がさらに広がりを見せています。また、看護師が担当していた事務業務の一部も引き継ぎ、業務の効率化と質の向上を図り、私たちの仕事の幅は今も広がり続けています。

これからの私たちの挑戦

AIをはじめとする情報通信技術の進化により、単純作業は機械に置き換えられるようになるかもしれません。しかし、機械が出力した情報を人の目で確認し、より高度な業務をサポートする役割は、私たちの重要な使命です。これからも、医師が本来の業務に集中できるよう、そして患者さんにとって安心できる医療が提供されるよう裏方としてしっかり支えていきたいと思っています。

※1 退院サマリとは、患者さんの入院中の診療内容や経過、検査結果、処方薬などを記録した文書で、退院後の外来診療や地域の医療機関と情報を共有するために使われます。

福島から考える平和と人権

齋藤紀先生が語る被爆者医療の歩み

五月三日の憲法記念日、いわき市保健福祉センターで、まちづくり委員会主催の「くらしの学校特別講座」が開かれ、九〇人が参加しました。講師は福島医療生協理事長の齋藤紀先生。「被爆者に寄り添って半世紀」被爆八〇年の振り返りと日本被団協のノーベル平和賞受賞」と題して講演されました。



齋藤先生の一言一言に静かに聞き入る参加者たち

広島で長年、被爆者医療に取り組んできた齋藤先生は、半世紀にわたる活動を振り返りながら、核兵器の非人道性、被爆の実相、放射線障害、原爆症認定訴訟について語りました。「裁判に勝つことで重い扉をこじ開けてきた。新たな認定基準ができたたび、そこに含まれない患者のために闘い続けてきた」と、自ら証言台に立った経験も交えて話されました。

さらに、原発事故後の福島で向き合ってきた放射能への不安や葛藤についても触れました。

参加者アンケートでは、「力強い言葉に感銘を受けた」「同じ放射能の被害を経験した福島の人として、伝えていきたい」との声が多く寄せられました。日本国憲法の理念と響き合う、憲法記念日にふさわしい講演会となりました。

二〇二五年原水爆禁止国民平和大行進

六月二六日、核兵器のない世界を願い、今年も平和大行進を行いました。礼文島から歩いてきた渡辺さんを迎え、小名浜生協病院から横町公園まで一人で元氣に行進。雨も止み、地域の皆さんに笑顔で平和を呼びかけました。平和は医療や福祉の土台。明るい未来のために、これからも歩み続けます。



平和への思いを胸に街中に響くシュプレヒコール！

わが支部紹介 第4回 中央台・郷ヶ丘支部

今日も元気に！ 笑顔広がる地域の居場所

今年度一三回目の支部総会を迎えた中央台・郷ヶ丘支部では、おしゃべりを楽しんだり、軽い体操やウォーキングで体を動かしたり、地域の皆さんが気軽に集い、笑顔になれる三つの班会が住宅街のなかで元気に活動しています。毎週のこの時間を楽しみにしている方も多く、地域に根ざしたあたたかなつながりが育まれています。

1、野あざみ班

開催場所 飯野一区会館

活動日 毎月第一・三火曜日

活動時間 一三時半～一五時

第一火曜日は、ラジオ体操で体をほぐし、続いて「水戸黄門」や「四季の歌」「星影のワルツ」など懐かしい歌に合わせた体操が人気。



今日も元気に体操をします

そのほかにもストレッチや筋トレ、脳トレに口腔体操に小物づくりなど、内容はバラエティ豊か！
第三火曜日は、ボールを使ったストレッチや筋トレを楽しみます。体をしっか

り動かしたあとは、職員さんが毎回工夫してくれるゲームに挑戦！笑い声が飛び交い、和やかなひとときになります。

さらに、年に数回のお楽しみ！

納涼会や新年会の食事も大人気。手頃なお値段でおいしいお店を選んで、みんなでワイワイ。おしゃべりも弾み、自然と笑顔があふれます。体も頭も楽しくリフレッシュできる時間に、地域の皆さんが集い、毎日にぎやかなひとときを過ごしています。



大笑いしてストレス発散

2、ひなたぼっこ班

開催場所 郷ヶ丘二丁目館

活動日 毎月第三水曜日

活動時間 九時半～一一時

「ひなたぼっこ班」は、支部ができる前から続く、地域に根ざした班会です。コロナ前には、仕出し弁当や漬物、自家製の野菜を持ち寄って、みんなで囲むお昼ごはんがとっても楽しみでした。今でも、月に一度の再会に、おしゃべりが止まらないほど盛り上がりです。活動では、ストレッチや筋トレに使うボールの触りや座り心地に癒されながら、無理なく体を動かしています。



ゆっくり体を動かします

そして、二手に分かれて行うゲームでは、思わず闘志がわき、笑い声が館内に響きます。にぎやかで、あたたかい。そんな時間が「ひなたぼっこ班」には流れています。

3、みんなでウォーク班

開催場所 県立いわき公園

活動日時

①偶数月 第二木曜日

一〇時～一二時半

②奇数月 第三木曜日

一〇時～一二時半

年会費 一〇〇〇円

この班会は、地域内にある広大な敷地と四季折々の自然が楽しめる県立公園で開催しています。

春には桜、初夏の新緑、秋には紅葉、そして鳥のさえずりといった自然の恵みに囲まれ、心身を癒しながらのウォーキングは大変人気です。暑い日も寒い日も変わらず、多くの参加者が



桜の下をみんなでウォーク



輪投げは人気のゲームの1つです

集まります。この班会の特徴は、地域の方々とどまらず、参加者が新たな参加者を呼び、市内各地から人が集まるという広がりを見せている点です。

また、毎年三月には「二一世紀の森公園」で咲く河津桜を観賞しながら総会を開き、年間の活動計画などを話し合うのが恒例となっています。

さらに、年間を通じてさまざまな交流の機会も設けており、毎年恒例のバスハイイクもその一つです。今年は、六月一二日に相馬市・松川浦への日帰りバスハイイク、そして一〇月九日には浄土平・吾妻小富士へのバ

スハイイクを予定しています。自然に親しみながら仲間と交流を深める貴重な機会として、毎回多くの参加者に喜ばれています。

『終わりに』

各班会の活動報告は、毎月開催される支部の運営委員会でも共有されています。同時に、各委員会からの報告や行事の振り返り、提起された課題

などについても、運営委員の皆さんが活発に意見を交わしながら取り組んでいます。



運営委員会の様子

中央台・郷ヶ丘地区に限らず、市内の皆さまもぜひ、健康づくりと交流の場である私たちの班会にご参加ください。一緒に歩き、語り合い、支え合うことで、より豊かな地域づくりにつながっていきます。



昨年の総会時ウォーキングの様子

★読んでみてからクイズ287号★

日本被団協（日本原水爆被害者 団体協議会）が受賞したのは ノーベル〇〇賞

クイズ当選者には、まちかど健康チェックで場所を提供していただいているマルトの商品券1,000円を抽選で5名に贈呈します。

みなさまのご応募お待ちしております。
（当選時の宛先、ご住所をお忘れなく）

〆切は 2025年 8月末日 消印有効
当選発表は 289号にて

はがきは…
971-8151
いわき市小名浜岡小名字山ノ神40
医療生協ニュース「287号」係
電子メールは…
info@hamadori-coop.jp
題名を「287号クイズ応募」とお願いします

応募先